

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 平成24年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/11大般若・大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7/30~7/31 第31回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- 10/4 特派布教師老師巡回 (会場:龍源寺)
- ※10/17~10/21 群曹青50周年記念大授戒会
- ※10/27 檀信徒参拝研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室

## 十三重石寶塔、堂々完成



当山本堂前に、総高15尺(約4.56m)・総重量5tの十三重石寶塔が完成しました。檀信徒の白田實様(松田)の寄進発願により、同工事が4月より進められ、6月に完成。施工は、石匠多比良様(多比良・篠崎正道社長)に依頼。十三重石寶塔の建立は勿論、当山の石碑等の移動や補修工事等も精力的に行って下さいました。

その貴い浄行に併せまして、当塔基壇部に納める写経を4月29日恒例の大施食会蚕影山例祭法要の際にお願い申し上げましたところ、当山檀信徒はもとより

↑堂々と完成した十三重石寶塔

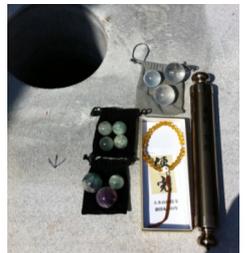
福島県の東日本大震災被災地よりも届き、合計79枚の写経が集まりました。その写経を昨年に拜登申し上げました大本山總持寺御移転百年記念の御数珠と御本寺仁叟寺様からいただきました水晶珠を共に納めました。ご協力いただきました善男善女各位に篤く感謝と御礼を申し上げます。



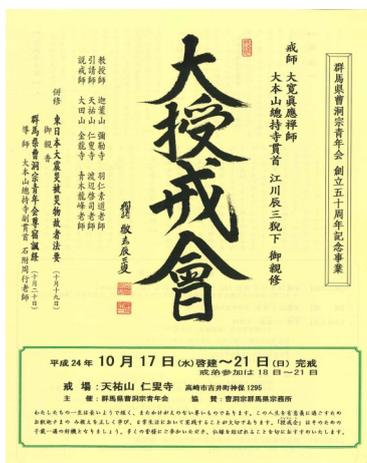
尚、開眼法要は、後程に改めまして当寺主催で修行させていただく予定です。

←工事の様子

→基壇部に納めた写経数珠水晶



## 大授戒會法要にご参加下さい（戒弟募集中）



当寺報等でも何度もお伝えいたしております通り、今秋10月17日（水）～21日（日）に掛けまして、大授戒會が仁叟寺を会場として修行されます。戒師様は、曹洞宗大本山總持寺貫首・江川辰三禪師がお勤めになられます。ほか、教授師を曹洞宗参議であります羽仁素道迦葉山山主老師が、引請師を渡辺啓司仁叟寺住職が務める予定です。また、説戒師として青木龍峰金龍寺住職、青年会員物故者尊宿諷經導師を大本山總持寺副貫首・石附周行老師がお勤めになられます。

同行事は、群馬県曹洞宗青年会の創立50周年を祝賀し、計画をされました。是非、この貴重な法縁を結ぶ機会に、檀信徒を始めとする皆様方の参加を強く呼び掛ける次第です。檀信徒の皆様方に於かれましては同法要の詳細と申込書を配布いたします。参加申し込みは、龍源寺若しくは仁叟寺まで、お願い申し上げます。

↑大授戒會ポスター

## 大施食法要報告～龍源寺紹介映像～

本年の大施食会蚕影山例祭法要は、4月29日に修行いたしました。今年には特に東日本大震災の一周忌に当たる年でもあり、当山でも被災物故者各位のご供養と慰霊を、改めて併せて勤めさせて頂きました。

その法要に先立ちまして、本年の講師として迎えました、住職友人のスティックアンドラダー（東京）社長棟梁の村上邦久氏によります講演をいたしました。氏は、卓越した技術を以て龍源寺の紹介映像を1年半以上に亘り撮影しており、春夏秋冬折々の風景や行事等も全て記録に収めて下さっております。本年秋に完成を予定しておりますので、その際には檀信徒始め関係各位に頒布出来るよう計画しております。ご期待下さい。

同講演では、プロジェクターを使い龍源寺紹介映像を写し、撮影に関する貴重なお話を頂戴いたしました。有難うございました。



↑講師・村上邦久氏

## 本堂工事中 ～白アリ被害に見舞われました～

本堂の東側の柱及び床下の一部が、シロアリの被害に遭いました。昨年の庫裏に引き続きのシロアリの被害、当山としても何か対策を考えようと思っております。早速、6月下旬より檀信徒の大工さんである加部元信様に見ていただき、早期の修繕をご依頼申し上げます。

併せて、位牌堂の設置を行わせていただいております。本堂にある檀信徒専用の位牌堂がお陰様で満杯となりました。その一部と、当山歴代住職及びお弟子様の位牌を祀る位牌堂がなかった為、設置を考えておりましたが、今回はその契機となった次第です。完成は8月のお盆様までにと考えております。

それまでは、修理等で、堂内が騒がしく、ご迷惑をお掛けする事もございますが、宜しくご理解ご協力の程、お願い申し上げます。



↑シロアリ被害の柱の撤去工事

## 秋の参拝研修旅行にご参加下さい



毎年恒例の龍源寺仁叟寺参拝研修旅行の旅  
程が決まりましたので、茲にご案内申し上げ  
ます。本年は、今秋10月に大授戒會で戒師と  
して曹洞宗大本山總持寺貫首・江川辰三禪師  
様が仁叟寺にご来山されます。また、大本山  
總持寺の副貫首は石附周行老師であり、仁叟  
寺の御本寺である渋川市雙林寺の御住職を勤  
められ、現在は神奈川県大雄山最乗寺の山主

↑ 曹洞宗大本山總持寺大祖堂  
↓ 大本山總持寺精進料理御膳

老師をお勤めになられております。その御礼も兼ね、今年  
の旅行では、大本山總持寺様のご拜登を予定しておりま  
す。また、典座と呼ばれる修行僧が担当して作る御膳の精



進料理を召し上がっていただき、ほか横浜鶴見の大本山のそばにありま  
す平間寺様（川崎大師様）、帰路には東京巣鴨の高岩寺様（とげぬき地  
蔵尊様）など、参拝研修旅行に相応しい旅程を企画しております。

是非、沢山の皆様方のご参加をお願い申し上げます。なお、お申し込  
みやお問い合わせは、龍源寺若しくは仁叟寺まで。

**参拝研修旅行日程 10月27日（土）大本山總持寺様拜登ほか**

## 仁叟寺通信-35- 御本尊様釈迦三尊像、御帰山



↑ 本間先生ご夫妻 総代人ほか山内関係者にてお迎え



去る4月2日（月）、約2年  
半ほどの間、修復に出られ  
ておられました本尊様・釈  
迦三尊像が、無事ご帰山い  
たしました。修復に当たら  
れた佛教造形研究所の本間  
紀男教授ご夫妻ほか関係者  
が、当寺まで搬入。山内  
では、住職・前任職・副住職  
ほか総代人各位のお迎えの  
もと、修復の完成をお祝い

申しあげました。本堂に安置されたのち、謹んで諷経し、参列者に香を薫じていただきました。

同修復作業は、長い年月を掛けて役員会等で審議し、3年ほど前に決定をいたしました。の  
ち、修復前の木材等を工房のある山梨県にて祈祷し、本尊様搬出や、その間に留守を護っていた  
だく旧本尊様・薬師如来立像の安置諷経等、沢山の行事を経て今回、見事に立派に修復されてのご帰山と相成りました。

特に当山檀信徒始め多くの皆様方のご協力がなければ務める事の出来ない大事業でございました。改めまして、厚く御  
礼申し上げます。

なお、修復後の開眼会供養は、今秋9月17日に予定しております。全檀家ご参列の程、お願い申し上げます。



# 今秋に特派布教師巡回 ～御参加下さい～ (会場に龍源寺が初めて選ばれました)

当山の所属する曹洞宗の教区は、第14教区といいます。旧多野藤岡地区及び高崎市の一部がその範囲となっており、全45ヶ寺のご寺院様がございます。今回、その第14教区に於いて、龍源寺が初めて特派布教師巡回の会場と相成りました。檀信徒始め関係各位のご参集を、切にお願い申し上げる次第です。

特派布教師巡回は、住職が以前、梅花主事として奉職申し上げておりました曹洞宗群馬県宗務所主催の一大行事でございます。曹洞宗管長猥下様より派遣される特派布教師ご老師の法話を伺う事が出来ます。この度、貴いご法縁がございまして、その特派布教師巡回の会場に当山が選ばれました。詳細は後程に、檀信徒の皆様方は勿論、関係各位にご通知ご案内差し上げます。この難値難遇の機会に是非ご参列賜りますよう、お願いいたします。

日程は、今秋10月4日(木)友引の午後1時30分より予定しております。宜しくご参集の程、重ねてお願い申し上げます。

## 特派布教師巡回(第14教区)

会場：吉井町多胡 龍源寺

日時：平成24年10月4日(木)

友引 午後1時30分開式

# 自らを洲とする～東日本大震災被災地支援報告



↑活動報告をする住職

去る6月16日(土)から17日(日)に掛けて、第50回群馬緑蔭禅の集いが、富岡市光嚴寺様を会場に開催されました。主催は、住職も役員を務めております群馬県曹洞宗青年会。青年会員及び参加者併せて70名程が、一泊二日の日程で参禅修行に励みました。その際に、不肖ながら拙僧が東日本大震災被災地慰霊及び支援活動報告と題し、お話をさせて頂きました。なお、活動報告に関しましては、当山HP上でも公開しておりますので、関心のある方はご覧下さい。

また、当坐禅会に於きましては、参加者各位により、数珠の作成がなされました。2つ作っていただき、1つは自身に、残り1つは9月の研修旅行の折、青年会会員で、福島県伊達郡国見町の被災者が避難されている仮設住宅へお届けする予定です。

→上毛新聞記事(6/20付)



# 行雲流水(編集後記)

編集人 住職 波辺龍道

先日、仁叟寺住職と共に、多胡小学校に伺いました。朝の時間40分程度でしたが、地域の歴史や文化・伝統、また禅についてのお話等をさせて頂きました。多胡小学校は仁叟寺寺子屋が発祥で、当初の名称は神保小学校。初代校長は26世機参学禅大和尚。深い縁がある事や、拙僧も師匠である父・祖父・曾祖父も皆卒業生でございます。現在、長男も通っております。地域に貢献出来る事は、微力ながらお務めさせて頂きたく、改めまして感じた次第です。(龍)